

## 〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「たくましい心と体」「思いやりのあるやさしい心」</li> <li>2) 小規模ならではの家庭的で落ち着いた雰囲気の中で心身ともに穏やかな成長を促す</li> <li>3) 日々の生活や遊びの中で自分で考え自分で行動する力を育てる</li> <li>4) 職員間で話し合いのできるチーム保育</li> <li>5) 子どもを育てることが楽しいと思える育児支援</li> </ol>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものよき理解者として、一人ひとりに寄り添った保育ができる</li> <li>・社会人としての責任感と向上心を持ち、思いやりの心を持って人と接することができる。</li> </ul>
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもにとって「もうひとつのおうち」と思えるような保育の提供ができる。</li> <li>・思いやりを持ちながら、職員のチームワークを大切にする。</li> </ul>

## 〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	11月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は、1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。		
調査方法	無記名方式。QRコードを記載したアンケートの案内を事業所を通じて保護者へ配付し、WEB上でアンケートに回答してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。		
利用者総数	12		
利用者家族総数（世帯）	12		
共通評価項目による調査対象者数	12		
共通評価項目による調査の有効回答者数	12		
利用者総数に対する回答者割合（％）	100.0		

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」7名、「満足」5名であり、利用者全員100%が満足と回答しています。

毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「子どもの興味や関心」、「行事日程の十分は配慮」、安心・快適性における「職員の言葉使いや態度・服装」、および利用者個人の尊重における「子どもの気持ちを尊重した対応」で100%で、その他多くの項目でも「はい」90%となり、高い満足度がうかがえます。

自由意見では、「入園したての頃に、あんなに人見知り、場所見知りがあった我が子が、今では笑顔で登園できる日が増えていて、とても感謝しています。いつもありがとうございます」、「いつも子供のことを大切にしてくれている様子がわかり、成長の様子を教えてくれるのでとても信頼しています。今では友達と先生に会えることを楽しみにしていて、安心して仕事ができおり、とても感謝しています」など園に対する感謝の声が寄せられています。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 小規模保育事業での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	12	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「保育園入園前は、人見知りで他の子と遊ぶとできなかったが、保育園に入ってから友達と楽しそうに遊ぶようになった」などの声がありました。				
2. 小規模保育事業での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	12	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「家ではなかなかさせてあげられない活動を経験させてもらっていると思います」などの声がありました。				

3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	9	2	1	0
75%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「家ではまったく食べないのに、保育園ではおかわりまでの食べっぷりです」、「いつもほぼ完食していて、おいしく食べていると思う」などの声がありました。				
4. 小規模保育事業の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	10	2	0	0
83%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「最近公園で自分から積極的に遊んでいるようで、成長を感じる」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	1	1	3
58%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「電話で連絡すると、すぐに対応してもらえる」、「そもそも延長保育が無いため」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	9	3	0	0
75%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「安全対策をしているとは思いますが、我が子が、他の子が投げた葉っぱにかかってしまったり、他の子から手を出されるようなことがあったので、安全対策が十分取られているとは言えないと思いました」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	12	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
8. 子どもの保育について家庭と小規模保育事業者信頼関係があるか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「いつもお迎えの時に、先生たちに子どもの様子を聞いたり話すのを楽しみにしている」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	12	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「我が子が怪我をした時に、報告していただいたことがあるので信頼できると思います」などの声がありました。				

12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	9	2	0	1
75%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「一度、他の友達と喧嘩した時に、経緯を詳しく説明してくれた」などの声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	12	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	10	1	0	1
83%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「特にまだ本人はプライバシーが気になっていないと思う」などの声がありました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	11	1	0	0
92%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	7	1	2	2
58%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

## 〔サービス分析：小規模保育事業〕

## I サービス提供のプロセス項目（サブカテゴリー1～3、5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4	
	評価項目 1	評点 (〇〇〇〇)	
	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		
<p><u>利用希望者にはホームページ等により保育園の情報を提供しています</u> 法人が運営するホームページで系列の幼稚園（認定こども園）や小規模園と関連付けて園を紹介しています。ホームページでは写真を入れて明るい雰囲気を感じる内容にして園を紹介しています。「たまだいら1, 2 Smile House しおり」を小冊子にして、見学の際などに渡したりして園の情報を伝えています。園の情報を市の保育課に提供して、利用希望者に提供できるようにしています。</p>			
<p><u>利用希望者に分かりやすい情報提供を行っています</u> ホームページでは、天然木材を使用した園内の様子や保育方針、保育内容、保育園の一日、保育園の行事などを分かりやすく紹介しています。また、ホームページから見学を申し込めるようにしています。入園のしおりを毎年職員が内容を話し合い、検討・改善して内容の修正を重ね、利用希望者に提供しています。入園のしおりにはイラストを入れて、文字は大きくゴシックで見やすくし、重要な点は赤字で表示して分かりやすくしています。</p>			
<p><u>利用希望者の見学や相談に個別に対応しています</u> 見学はホームページから希望日程を記入し申し込めるようにしています。また、利用希望者の都合に合わせて見学時間などを個別に調整し、見学者が同時に隣接する幼稚園に見学する場合にも配慮して日程調整を行っています。入園希望者には園の雰囲気や子どもの様子を見てもらおうように見学を勧めています。見学者は年30名ほどを受入れ、理事長や園長が対応して、アレルギー食などの説明を丁寧に行い相談に応じています。見学者に情報を用紙に記入してもらい、記録に残しています。</p>			

2	サブカテゴリー 2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 6	
評価項目 1			
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている			評点 (〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目 2			
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている			評点 (〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー 2 の講評			
<p><u>保育の開始にあたり、保護者に個別に説明して同意を得ています</u></p> <p>入園が決定した保護者に園のしおりと重要事項説明書を事前に送付して理解がすすむように配慮しています。入園前面談では理事長と園長が保護者と個別に面談して、丁寧に説明して、今後の園生活を安心いただけるように心がけています。面談で意向を確認して同意を得て、同意書や利用契約書、給食に関する同意書ももらっています。園ではITによる連絡アプリを使って情報共有しているため、個人情報の扱いなども十分に説明しての同意ももらっています。面談結果は面談シートや給食面談シートに記録しています。</p>			
<p><u>保育を開始する際に、子どもが環境変化に対応できるようにしています</u></p> <p>保育開始時に「家庭状況調査表」を保護者に記載してもらい、家庭や子どもの健康状態など必要な情報を把握しています。保育を開始する前には理事長・園長が個別面談して状況把握に努め、面談記録をアプリの面談シートに入力して職員が共有して保育に活かしています。慣らし保育は1週間を基本として、少人数保育の良さを生かして個別対応しています。入園初期の4月5月は、外に出て公園などで子どもが気分転換も出来るように心がけています。</p>			
<p><u>子どもの保育終了時の継続性に配慮しています</u></p> <p>1・2歳の保育園であるため保育の終了は、隣接する系列の幼稚園（認定こども園）や他の保育園への入園がほとんどです。保護者の引っ越し等による転園はありますがトラブルによる退園はありません。園では少人数での保育であり保育終了後に大集団に入る場合が多いため、多くの子どもと一緒にでも不安なく過ごせるように配慮しています。2歳児クラスの子どもは、系列の幼稚園の年少クラスの活動に参加したり、事前に大集団での保育経験をしています。卒園後に入園する園の情報を、保護者の了解を得て入園する園に提供しています。</p>			

3	サブカテゴリー 3		
	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 13 / 13	
	評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している <span style="float: right;">評点 (○○○)</span>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
	評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している <span style="float: right;">評点 (○○○○○)</span>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
	●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	○非該当
	評価項目 3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している <span style="float: right;">評点 (○○)</span>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
	評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している <span style="float: right;">評点 (○○○)</span>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当	
サブカテゴリー 3 の講評			
<u>子どもの心身や生活の状況を収集して連絡アプリで記録管理しています</u> 子どもの心身の状況や家庭の状況を家庭状況調査表や面談で収集し、面談シートや児童票に記録し、日々の保育内容も保育日誌に記入しています。これらの情報を園支援システムのアプリに入力して管理しています。子どもや保護者のニーズや課題について、常に話し合い、毎月の計画作成時にも見直し共有しています。子どもに関するニーズや課題について定期的な見直し時期等を決めていませんが、少人数保育であり、職員間で随時に確認を行い情報共有ができています。			

全体的な計画を作成し、それを基に年間・月間・週間の指導計画を作成しています

全体的な計画は園長が作成し、これを基に指導計画（年間・月間・週間）をクラス担任が相談しながら作成し、主任と園長が確認しています。子ども一人ひとりの月間指導計画（個別）を作成して、前月の状況や当月のねらい、援助内容、評価・反省を記録しています。月間指導計画の「ねらい」を毎月のお便りで保護者に伝えています。年間カリキュラムを玄関に掲示して園の活動を保護者に周知しています。年間・月間・週間のそれぞれの計画について、作成する際に見直しており、状況変化に応じてその都度確認して職員・主任・園長で確認して共有しています。

子どもに関する記録を電子データと紙媒体で記録して管理しています

子どもに関する情報をアプリのシステム「れんらくアプリ」に集約し、関係者と共有しています。保護者にも「れんらくアプリ導入のお願い」文書で説明し、登録してもらい、情報共有を行っています。このアプリに必要な情報を入力して、保育内容を連絡帳や保育日誌に記録しています。子どもや家庭の変化や申し送り、引き継ぎ事項は、ホワイトボードでも伝え、れんらくアプリで周知しています。子どもの一人ひとり気になることなど、それぞれ職員の理解を深めるため、ミーティングで随時話し合っています。

5	サブカテゴリー5	
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
評価項目1		
子どものプライバシー保護を徹底している		評点 (○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るよう にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2		
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点 (○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p><u>個人情報の扱いについて保護者に同意を得て保護を徹底しています</u>  関係機関への情報提供など子どもに関する情報の扱いについて重要事項説明書に明記しています。入園時に保護者に説明し同意を得て「個人情報の提供に関する同意書」を提出してもらっています。ホームページ等の写真掲載に関する同意を確認して、保護者の意向に沿って掲載しています。アプリを使用して情報提供を行うため、写真等含め情報提供の際には個人情報の扱いに十分注意しています。</p>		
<p><u>子どもの羞恥心やプライバシーに配慮しています</u>  衣服の着替えなどでは外部から見えないように配慮して、水遊びではTシャツを着用して肌の露出を減らしています。写真を撮る際には肌着やオムツを撮らないように配慮しています。着替えやおむつ替えの時には羞恥心への配慮した声掛けなどを行なっています。2歳児になり排せつの失敗があった場合には、周囲の子どもに気づかれないようにして対応しています。園は道路に面し、明かりが入る保育室になっていますが、外からは保育室内が見え難いようにガラスにイラストを貼ったり、シールドで隠す配慮をしています。</p>		
<p><u>子ども一人ひとりを尊重し、保護者の価値観を考慮した保育を行っています</u>  子どもの権利と尊厳については、職員会議等で話し合い重要性の理解が深まるよう努めています。「一人一人を大切に・・・」を園の保育理念として日々保育を行っています。家族の価値観や生活習慣に配慮し集団生活の中での制約について理解が得られるようにしています。虐待防止などについて、「虐待防止マニュアル」の読み合わせや自己チェックを行い、理解を深めています。子どもを尊重する保育や虐待防止の知識などをさらに深めるため勉強会や研修を充実させていきたいと考えています。</p>		

6	サブカテゴリー 6	
	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点 (○○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている ○非該当
	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている ○非該当
	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している ○非該当
	評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点 (○○)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている ○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている ○非該当	
サブカテゴリー 6 の講評		
<u>各種マニュアルにより園での保育手順を明確にしています</u> 園の各職務に応じたマニュアルでそれぞれの手順を明確にしています。同じ法人内の小規模園と共通で、危機管理や下痢嘔吐処理、食物アレルギー緊急時対応などのマニュアルを整備しています。新入職員マニュアルでは教育目標と方針、子どもとの関り、親との関り、散歩など基本事項を明示して標準化を図っています。		
<u>職員は手引書等を活用し、見直しを行なっています</u> 園の事務所にマニュアル専用のファイルを作り、マニュアルを整備していつでも確認出来るようにしています。事故防止や危機管理、不審者対応、苦情処理などのマニュアルを整備しています。年度毎に入園のしおりの改善・修正をする際にマニュアル・手順を見直しており、随時に職員が気づいた際にも確認して改訂を行なっています。		
<u>職員や保護者から意見を聞き、保育の質の向上に努めています</u> 年間指導計画に「保育士の自己評価」、月間指導計画に「自己評価」「子どもの評価」、個別指導計画に「評価・反省」の欄を設けて、職員による見直しにつなげています。保護者からは個別面談などで意見を把握しています。保育内容について職員から意見や提案などに気づいた点があれば園長に報告してもらっています。少人数体制で話しやすい雰囲気のため、園長がすぐに見直しを行い、全職員で確認して保育に反映して質の向上につなげています。		

II サービスの実施項目（サブカテゴリー4）

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 35 / 35	
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている	評点 (○○○○○) ・非該当1	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
	○あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている小規模保育事業者のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	●非該当
評価項目1の講評			
職員全員が子ども一人ひとりの姿を把握し、子どもの成長をはぐくんでいます 入園前の子どもの姿は、家庭状況調査票や面談シートなどで把握しています。1～2歳児対象の小規模な園の特性を活かし、職員全員が子ども一人ひとりの全体的な姿を把握しています。子どもの人数に対して、職員の人数も多いため、子ども一人ひとりへの理解や把握が可能で個別対応がしやすい環境が整っています。日々の保育から子どもの姿を把握し、子どもたちに経験してもらいたいこと、身に付けてもらいたいこと、また小さなことでも都度職員間で話し合っています。			
家庭的な雰囲気大切に、自由な発想で遊ぶ子どもたちの気持ちを見守っています 1歳児、2歳児は、木のぬくもりが感じられる保育室内で一緒に生活しています。子どもが興味・関心を持てるような年齢にあった玩具を提供しており、絵本、ブロック、知育玩具、手作りおもちゃなどを用意し、自由な発想で遊ぶ子どもたちの気持ちを見守っています。園で話し合い「玩具表」を作成し、子どもたちが飽きないようにするにはどうしたらよいかなど考え、職員皆で日々保育を行っています。玩具の入れ替え、さらなる充実含め課題としており、子どもの興味や関心、遊びの動向に注目しながら、今後取り組んでいきたい考えです。			
子ども同士のトラブルの際には、子どもの気持ちを尊重して仲立ち等をしています 特別に配慮を要する子どもへの対応も柔軟に対応できるよう、手厚い職員配置の中、職員全員が対応方法を把握できるようにしています。現在は特別に支援が必要な子どもはいませんが、市の発達・教育支援センターエールとも連携する体制も整えています。子ども同士のトラブルは、職員は子どもの気持ちに寄り添い、気持ちを受け止め、代弁し仲立ちすることを大切に対応しています。自分の気持ちを十分に言葉で言い表せない頃は、子どもの気持ちに共感し、心が満たされるような言葉掛けを心がけています。			
2	評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評点 (○○○○)	
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当

●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目 2 の講評		
<p>朝の受け入れ時には子どもの状況を直接保護者に確認し、把握しています</p> <p>朝の始まりが気持ちよく迎えられるよう、登園時に元気に挨拶を交わしています。登園前には連絡帳アプリに入力してもらい前日からの様子を確認するとともに、登園時に玄関エントランスで受け入れた際、保護者に口頭で子どもの体調などを確認しています。職員は、顔色や表情、声の調子などからいつもと様子が違わないかを観察し、健康状態を把握するとともに、朝食の摂取状況なども把握しています。いつもと違う様子が見られた場合には、保育内容を変更するなど、様子を見守る体制を整えています。</p>		
<p>個人別指導計画を作成し、基本的な生活習慣が身につくように援助しています</p> <p>1～2歳児に対して月間指導計画を作成し、基本的な生活習慣が身につくよう援助しています。10月の1歳児の指導計画のねらいに、手洗いのやり方を覚え自分で取り組むことを記載し、配慮事項には自分からやろうとする気持ちを認め、やり方を知らせながら援助することを記載し取り組んでいます。子ども一人ひとりの発達に応じた援助方法を職員同士で話し合い、自分でやろうとする子どもの意欲を大切に、洋服の着脱や靴の脱ぎ履き、トイレトレーニング等、保護者とも連携して子どもに無理なく取り組んでいます。</p>		
<p>降園時には、保護者にその日の保育の様子を伝えて、信頼関係を構築しています</p> <p>小規模園の特性により、職員全員が子ども一人ひとりを把握するほか、各職員は他クラスの子どもの様子も意識し合えることを大切にしています。毎日15時頃に連絡帳アプリで一日の子どもの様子や活動内容を保護者に配信しています。降園時も玄関エントランスで行い、担当職員が丁寧に伝えるよう努めています。定員12名の小規模園ということで、登降園ともに保護者とじっくり会話ができることで、子どもの状況を共有しやすい環境が整っています。保護者とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を構築できるよう努めています。</p>		
3	<p>評価項目 3</p> <p>日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している <span style="float: right;">評点 (○○○○○○)</span></p>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉（発声や喃語を含む）や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがぎまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目 3 の講評		
<p>子どもたちが主体的に遊び込めるように工夫して取り組んでいます</p> <p>職員は、保育目標を軸に、保育のねらいや人的・物的環境を考え保育を積み重ね、子どもたちが自主的に遊びに参加できるよう、毎日の活動内容に季節感を持たせたり、感触遊びを取り入れる等して保育を行っています。室内遊びでは音のでるもの、感触を楽しむものなど五感を育む様々なおもちゃを日ごとに用意しています。子どもが遊び込んでいる時はそっと見守り、何か困っているときには声をかけるなど配慮しています。午睡前には静かにゆったり絵本を読む時間も設けています。</p>		

言葉に対する感覚を養い、話すことが楽しいと思えるような保育を実践しています

今までマスクをしていたため子どもたちから職員の表情が見えづらい状態でしたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、園としてマスクを必須とせず保育にあたっています。子どもが職員の表情・口元を見るようにできるようになってから、絵本に集中できるようになったと園では実感しています。笑顔でゆっくり話しかけ、絵本を読み聞かせ、歌を歌うことで、話すことが楽しいと思えるような保育を実践しています。子どもが話しかけてきた際には興味を持って話を聞き、子どもが話を伝えたことをうれしく感じられるように対応しています。

天気の良い日は毎日散歩に出かけ、四季の自然に触れて遊ぶ機会を大切にしています

園庭がないことから、天気の良い日には毎日のように散歩に出かけ、子どもたちが自然に触れたり、季節の移り変わりを肌で感じ取る機会を大切にしています。遊具のある公園や草花に触れられる通りを散策するほか、広い公園で走ったり、外気浴をするなど年齢や発達に応じて様々な活動を取り入れています。公園でどんぐり拾いをしたり、枯れ葉を踏んで音を楽しんだり、セミやダンゴムシなどの虫を透明カップに入れて観察したり、興味・関心がもてるようにしています。自然の豊かさを受け止め、年間を通して季節の移り変わりを感じています。

4 評価項目 4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目 4 の講評

運動会では、日常の保育の中での取り組みをそのまま発揮できるように取り組んでいます

保護者参加型の行事として運動会があり、系列の小規模園と合同で実施しました。運動会では恒例のダンスを披露しました。日常の保育の中で毎日朝の体操として実施してきたことをそのまま運動会で発揮できるように取り組んでいきました。個人競技もあり、子どもの発達状況や興味・関心をもとに決め、練習時に大いにほめ喜びや達成感を得て、自信をもって当日を迎えられるようにしています。行事後、保護者へのアンケートなど実施していませんが、次年度の取り組みにつなげるため実施していきたいと考えています。

季節や文化にちなんだ行事を行い、日常の生活に潤いをもたせています

日常の保育の取り組みを活かしながら、正月遊びや節分、ハロウィン、クリスマスなど季節や文化にちなんだ行事を行っています。1月には隣接する系列幼稚園で実施する「もちつき」にも参加し、小さな杵とうすで実際にもちつき体験しました。3月には「お楽しみ会」を行い、園でお弁当を用意して遠足気分で1~2歳児合同で出かけています。毎月誕生日会を実施し誕生日カードを渡し、歌を歌い祝っています。これら行事は保護者が参加しない行事であるため、連絡帳アプリや写真の掲示、降園時に口頭でどのような様子であったか丁寧に保護者に伝えています。

5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 (〇〇)
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目 5 の講評			
<p><u>延長保育がなく常に担任職員がいる環境が整っており、安心して過ごすことができます</u>  月曜日～金曜日まで保育時間を7時～18時までとし延長保育はありません。多くの子どもが8時15分頃から登園し、夕方は17時30分頃には降園しています。延長保育がないため、常に担任職員がいる環境を整えることができ、安心して過ごすことができます。小規模な家庭的な園の利点を活かし、少人数でゆったりとした環境で、日中同様あるいはそれ以上に子どもの気持ち満たされるよう、一対一でのかわりを大切にしています。好きな遊びをしたり、絵本を読むなど、子どもが好きなことをできるように配慮しています。</p>			
<p><u>一人ひとりが長時間保育と捉え、安心して楽しく過ごせるようにしています</u>  延長保育はありませんが、1～2歳児の低年齢の子供たちが過ごす園であることから、一人ひとりが長時間保育と捉え、安心して楽しく過ごせるようにしています。職員はひざの上に子どもをのせて歌を歌ったり、お話をしたりするなど、子どもが安心できるなかかわりが持てるように配慮しています。17時以降専用の玩具があり、長時間保育だから遊べる喜びを味わえるように工夫したり、環境設定にも変化を持たせ、ゆったりと落ち着いて保護者のお迎えを待てるようにしています。</p>			
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 (〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている		○非該当
評価項目 6 の講評			
<p><u>国産にこだわり、季節の食材を取り入れた栄養バランスの整ったメニューを提供しています</u>  木のぬくもりの感じられるテーブルとイスを使用し、1～2歳児全員で食事をとっています。テーブルの位置や高さなども配慮し、子どもが落ち着いて食べやすい環境を整えています。国産の食材にこだわった給食の献立は2週間毎に作成し、季節の食材を取り入れた栄養バランスの整ったメニューとしています。1歳児クラスで落ち着きが見られないなどの場合は、1歳児と2歳児クラスをパーティションで仕切ることもあり、落ち着いて食べられる環境を整える等工夫をしています。園では子どもが自分で食べようとする意欲を大切にしています。</p>			
<p><u>栄養士と話し合いを重ね、安全で楽しく食事ができるよう環境を整えています</u>  食物アレルギーのある子どもは入園前面談で把握し、個別対応をしています。園の食事は、卵・乳製品・そば・ピーナツ・キウイの5種類を使用しないメニューを提供しており、それ以外のアレルギーのある場合は、委託業者にも相談し対応していますが、どうしても対応が難しい場合はお弁当になることを伝えています。子どもの体調によって、提供量を減らすなど配慮し、食材の刻み方、形状、味付けなど、栄養士と話し合いを重ね、安全で楽しく食事ができるよう環境を整えています。</p>			
<p><u>子どもたちへの食への興味・関心が高まるよう取り組んでいます</u>  食べ物に関する絵本を読んだり、手遊びをしたり、日常の活動を通じて食に関心を持てるようにしています。隣接する系列の幼稚園で育てているミニトマトなどの野菜を観察させてもらい、直接触れ感触を楽しむなどしています。給食では七夕やクリスマスなど季節の行事に合わせて、食材の色どり・形など子どもたちに喜んでもらえるような工夫をしています。食育</p>			

	計画も作成し毎月取り組んでおり、無理なくできる活動を取り入れて、子どもの食への興味を引き出しています。保護者には、園だよりに栄養士からのポイントアドバイスも載せています。		
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価項目 7 の講評			
<p><u>安全な遊び方、交通ルールなど日ごろから子どもたちにわかりやすく伝えていきます</u>  ケガや病気から身を守ることは、日ごろから子どもたちにわかりやすく伝えていきます。外遊びや室内遊びの際の安全な遊び方、散歩時の交通ルールなど都度伝えていきます。公園でやってはいけないことは、みんなで輪になって確認してから遊んでいます。散歩などで危険につながる行動がみられた時には、その子どもにもわかるように危険であることを伝えて、子ども自身も意識していけるように働きかけています。散歩から帰ってきたい際、食事前などには手洗い励行に努め、職員と一緒にいる中で正しい方法が身につくように援助しています。</p>			
<p><u>職員全員が子どもの健康管理に努め、一人ひとりの体調把握をしています</u>  日頃から職員全員が子どもの健康管理に努め、一人ひとりの体調把握とともに、顔色や機嫌、食欲、睡眠など注意深く観察するよう努めています。嘔吐処理に係るマニュアルも備え、処理セットも常備し万々に備えています。基本的に園での与薬は行っていませんが、食物アレルギーにおけるエピペンに関しては医師の診断書をもとに園と保護者で話し合い対応しています。嘱託医とも連携し、子どもの健康面で助言を得る等連絡体制を整えています。アレルギー対応マニュアルを今後見直していく計画です。</p>			
<p><u>保健だよりなど、健康や保健に関する情報を保護者に提供しています</u>  3～4か月に1回、保健だよりを保護者に配付しています。早寝早起きを意識すること、朝ご飯をしっかりと食べること、季節に流行する感染症、正しい手洗いなど、わかりやすく記載し提供しています。自治体や関係機関から入手した情報も玄関掲示をしたり、連絡アプリを通じて配信も行なっています。園児や職員が感染症にかかった際にも、速やかに連絡アプリを通じて、感染症発生のお知らせを配信し保護者にも注意喚起をしています。</p>			
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点 (○○○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目 8 の講評			
<p><u>保護者とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を構築できるよう努めています</u>  保護者の利便性向上のため登降園時間、出欠等は連絡アプリで行なえるようにしています。急な時間の変更も柔軟に対応し、安心して仕事に向かえるようにしています。定員12名の小規模園ということで、登降園ともに保護者とじっくり会話ができることで、子どもの状況を共有しやすい環境が整っています。保護者とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を構築できるよう努めています。今回の利用者調査でも、園への総合満足度100%となり、「安心して仕事ができおり、とても感謝しています」など感謝の声が見られました。</p>			

	<p><u>運動会で実施した保護者同士が自由に交流できる機会等、今後増やしていきたい考えです</u>          保護者会や保育参観など実施していないため、保護者が交流できる機会をほとんど提供できていませんが、保護者参加型の行事として隣接する幼稚園で実施した運動会終了後に、保護者同士が自由に交流できる機会を設け、保護者からは良かったという声も聞かれました。新型コロナウイルス流行前は、隣接する幼稚園の園庭開放含め実施していたので、今後交流できる機会を増やしていきたい考えです。今後の取り組みが期待されます。</p> <p><u>日々の会話を大切に、保護者との共通認識を図れるよう努めています</u>          園での子どもの様子は、連絡アプリや送迎時の保護者との会話に加えて、毎月の園だよりで伝えています。園だよりには、月のねらい、活動予定、今月の歌、その他情報提供を掲載しています。連絡帳アプリで子どもの様子を保護者とやり取りし、登降園は保護者と顔を合わせて話すことを大切にしています。年間予定の中で定期的な個人面談は実施していませんが、気になることがあった時などいつでも面談を行うことを保護者に知らせています。</p>														
9	<p>評価項目 9          地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <span style="float: right;">評点 (〇〇)</span></p> <table border="1" data-bbox="169 734 1522 929"> <thead> <tr> <th data-bbox="169 734 373 775">評価</th> <th colspan="2" data-bbox="373 734 1375 775">標準項目</th> <th data-bbox="1375 734 1522 775"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="169 775 373 824">●あり ○なし</td> <td colspan="2" data-bbox="373 775 1375 824">1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している</td> <td data-bbox="1375 775 1522 824">○非該当</td> </tr> <tr> <td data-bbox="169 824 373 929">●あり ○なし</td> <td colspan="2" data-bbox="373 824 1375 929">2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</td> <td data-bbox="1375 824 1522 929">○非該当</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">評価項目 9 の講評</p> <p><u>近隣の公園散歩や図書館、児童館など地域資源を活用し保育に活かしています</u>          近隣には多くの公園があり、それらを「お散歩マップ」ファイルとしてまとめ、玄関エントランスでいつでも見られるようにしています。近隣の公園散歩のほか、年に1回隣接する系列幼稚園のバスに乗って、遠方にある大きな公園にも出かけています。公園散歩のほか、地域の図書館で本を借りたり、児童館のホールや集会場の広場でも遊んだりしています。散歩途中に行きかう近隣住民や、交番では警察官が出てきて声をかけてもらう等交流につなげています。地域資源の活用・交流を通じ、子どもたちの生活の幅を広げています。</p> <p><u>子どもたちの多様な体験や交流の機会を増やしていきたいと考えています</u>          隣接する幼稚園に消防車が来て、車に乗せてもらったり、消防服を着たり、子どもたちが喜ぶ姿がみられています。また自治体からの勧めもあり、公立保育園との交流について実施したいと考えていましたが事情により実現しませんでした。今後、地域との交流について自治体等からもアドバイスをもらいながら進めていきたいと考えており、小規模な園で難しい面もある中、地域との関わりを深めつつ、子どもたちの多様な体験や交流の機会を増やしていきたいとも考えており、今後の充実に向けた取り組みが期待されます。</p>			評価	標準項目			●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当												
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当												

〔利用者保護：小規模保育事業〕

Ⅲ 利用者保護に関する項目

利用者保護に関する項目		標準項目実施状況		5 / 9
1	評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点（〇〇）			
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当		
2	評価項目 2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点（〇〇）			
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当	
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当		
3	評価項目 3 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点（〇●●●●）			
	評価	標準項目		
	○あり ●なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当	
	○あり ●なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当	
	○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当	
	○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解し対応できるように取り組んでいる	○非該当	
	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当	
利用者保護の講評（※利用者保護の内容から3つ（必須）記載してください）				
保護者の意向を把握して対応体制を整えて迅速に対応しています 「苦情処理規程」にて苦情の受付担当者及び苦情解決責任者、第三者委員等を定めています。重要事項説明書により、苦情解決体制や対応方法を説明し、玄関に苦情解決のしくみを掲示しています。小規模保育園であるために、日頃から子どもや保護者と密接に接して意向の把握を行い、苦情があれば遠慮なく相談などができることを保護者に伝えています。苦情等については苦情処理簿に記録する体制を整えていますが、苦情を受けた事例はありません。				
虐待に対してマニュアルを整え、保育所や家庭での虐待防止に努めています 「虐待防止マニュアル」を整備して、虐待の内容や保育所の役割、虐待発見のポイント等を示しています。虐待防止マニュアルにて職員間で確認するとともに、「児童虐待予防チェックシート」を使って振り返ることにより、園内での虐待防止に取り組んでいます。子どもを受け入れる際の視認やいつもと違う様子、保護者の態度などにより虐待を受けていないかに注意して、疑わしい場合はミーティングを行い確認しています。重要事項説明書にて虐待防止を説明して、関係機関と連携することを保護者に伝えています。				

事故防止など取り組んでいますが、リスクマネジメントやBCP作成を課題としています

「危機管理マニュアル」「事故防止・事故発生時対応マニュアル」「不審者侵入時の対応マニュアル」等のマニュアルを整備してリスクに対応しています。ヒヤリハットや怪我の対応などについて職員が話し合っ対応しています。重要事項説明書に緊急時の対応や非常災害対策を明示して、引き取り訓練や不審者対応訓練を実施しています。リスク全体についての分析や事業継続計画（BCP）作成が課題となっています。系列の認定こども園と連携して、園庭遊びの危険確認や災害対策、感染症対策に取り組んでいます。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル①	日常の保育活動の中での取り組みをそのまま運動会で発揮できるようにしました	
内容①	園の大きな行事は系列園と合同で実施する運動会のみですが、保護者参加型の楽しい行事となっています。運動会では毎年恒例でダンスを披露していますが、乳児は当日緊張のため泣く場面も多くみられ、全員が楽しく・笑顔の姿を保護者に見てもらいたいと思い、職員皆で話し合い、運動会のための練習ではなく日常の保育活動の中で日々音楽を聴く、楽しく体を動かすことをそのまま運動会で発揮できるようにしました。個人競技もあり、大いにほめ喜びや達成感を得て、自信をもって当日を迎えるようにし、笑顔で楽しい運動会となりました。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
タイトル②	「れんらくアプリ」を活用して職員や保護者が情報を共有しています	
内容②	保護者による個人情報保護の同意のもと連絡アプリ・情報共有アプリ（れんらくアプリ）を使って情報共有しています。れんらくアプリを使うために、保護者に文書で説明・周知を図っています。アプリは保護者と職員のコミュニケーションツール、情報共有ツールとして機能しています。アプリの一斉配信機能でタイムリーに正確に連絡して周知の徹底になっています。また、急な登降園時間の変更や欠席連絡などの柔軟な対応にも役立っています。入力した情報はすぐに確認ができ、正確な情報共有となり、保育の質の向上にもつながっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

## 〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	小規模園の良さを活かして職員が話し合い、一人ひとりの子どもに寄り添った保育に取り組んでいます
	内容	子どもの人数に対して、職員の人数を多く配置し、子ども一人ひとりへの理解や把握が可能で個別対応がしやすい環境を整えています。ゆっくり、じっくり、丁寧な保育を心がけ、一人ひとりを大切にする保育を実践しています。発達の過程でおきる子ども同士のトラブルや噛みつき等への対応もベテラン職員から職員へ伝え・話し合い、その子の特徴をつかんだ対応が必要であることを伝えていきます。日頃から子どもの姿を把握し、小さなことでも都度ミーティング等で話し合い、迅速で的確な対応と保育のスキル向上にもつながっています。
2	タイトル	保護者に寄り添い、情報共有とコミュニケーションを心がけた対応により保護者から信頼を得ています
	内容	保護者に寄り添い、日々コミュニケーションを心がけた対応を行なっています。アプリを活用した連絡帳のやりとりや情報提供、登降園時等のコミュニケーションを通して情報共有を図っています。登降園時間の急な変更にも適切に対応することが出来て保護者に寄り添った支援となっています。12名と少人数の園のため登降園時には一人ひとりの保護者とじっくり子どもの様子を伝えることができ、お互い共通理解になり保護者との信頼関係が構築出来ています。利用者調査から満足度100%で保護者に寄り添った対応に感謝するコメントもあります。
3	タイトル	隣接する系列の幼稚園や地域資源など活用することで園庭がないというデメリットを感じさせないように日々取り組んでいます
	内容	園庭はありませんが近隣には多くの公園があり、雨が降らない日は毎日散歩にでかけ、自然に触れ、季節の移り変わりを肌で感じ取る機会を大切に、季節の虫や植物など触れる機会を多く持つよう取り組んでいます。夏は隣接する系列の幼稚園のテラスを借りて水遊び、また地域の図書館の利用や児童館のホールや集会場の広場でも遊び、散歩を通じた警察官と交流や消防署とのかかわりなど地域資源・交流を通じ多様な体験や交流ができるようにしています。地域資源を大いに活用することで園庭がないというデメリットを感じさせないように日々取り組んでいます。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	リスクマネジメントを明確にし、園全体での理解に向けた取り組みが期待されます
	内容	園では危機管理や事故防止、不審者侵入などマニュアルを整備して対策しています。また、隣接する系列の認定こども園と連携して取り組むこととしています。リスクマネジメントの全体的な取り組みと職員の理解が園の課題となっています。地震や火災を想定した訓練を実施しヒヤリハットへの取り組みを行っていますので、起こりうるリスクの優先順位や、対策に結びつける取り組みが期待されます。職員自己評価でも低い評価となり、系列園との連携も含めたりリスクマネジメントの取り組みについて体系的に明示するなど、今後の取り組みが期待されます。
2	タイトル	2歳児までの小規模園であり、卒園後の集団活動に対する保護者の不安解消に向けた今後の取り組みが期待されます
	内容	園児が卒園すると子どもたちの多くが隣接する認定こども園（連携園）などに移っていく中、保護者の心配事の一つとして3歳児以降の集団活動があり、園として今後の課題としています。小規模で密接な愛着形成が得られた園から、大きな集団に進級した際に委縮して楽しめないのではないかという思いもあり、今年度コロナ感染症が落ち着いたのを機に以前行っていた連携園の3歳児との交流保育を復活させ、以前より多く取り組んでいきたいと考えています。小規模園の良さをふまえつつ、連携園の幼児との交流に向けた対応等、今後の取り組みが期待されます。
3	タイトル	玩具の入替え、さらなる充実含め、子どもが飽きてしまわないような対応について今後の園の課題としています
	内容	子どもが興味・関心を持てるような年齢にあった玩具を提供しており、絵本、ブロック、知育玩具、手作りおもちゃなど用意し、自由な発想で遊ぶ子どもたちの気持ちを見守っています。玩具の入替え、さらなる充実含め、子どもが飽きてしまわないような対応について今後の園の課題としており、園で話し合い、毎日違うおもちゃを提供するため「玩具表」も作成するなど取り組んでいます。子どもの興味や関心、遊びが更に豊かに展開されるように、遊びこめる工夫に向けた取り組みに向け、玩具の見直し含め、今後のさらなる取り組みが期待されます。